



● JICA国内研修ケンバ訪問記 VOL.28 島嶼における自立を目指した
地域資源活用による人づくり、地域づくり@小値賀・前編

OJAMA-SHIMASU

今回の研修の舞台は長崎県の小値賀諸島一つ、大島という名小さな島。世帯数133戸、人口約100人。主な産業は農業と漁業で、高い山はないのになぜか良質の地下水が豊富に湧き出る島。そして温かい気質の住民には相互扶助の精神が宿るといわれ、その自然と人々に触れた旅人はかなりの確率で再訪するという不思議な魅力の島。



A comic strip panel featuring a character with a speech bubble containing the text "鍵ありますか?" (Does it have a key?). The character has a worried expression.

A comic strip panel consisting of five panels. The first panel shows a man in a suit sitting at a desk, looking down at a document. The second panel is a speech bubble containing Japanese text: '生はもう上前からに調査にすかうね' (Boku wa mou jōjū kara ni chōsa ni sukau ne). The third panel is a close-up of the man's face, looking surprised. The fourth panel shows a group of people in a meeting, with one person speaking. The fifth panel shows a woman with a shocked expression.

(※) 運動会は島民総出で行い
夜には必ず宴会があるらしい。

における自立を目指した地域開発による人づくり・地域つくば前後編で2号にわたり紹介。長崎県小値賀町の提案による技術協力事業で、実施団体はエスレヤン大学だが、福岡市O「エデュケーション・センター（EdU）」や名古屋も協力し、官・学・民の連携がなされている。

的に地方分権が推進される中、開発途上国を問わず、地域資源をかした住民主体の自立的な発展する地域づくりが重視され、規模離島にとって重要な課題としている。小値賀町は地域の特徴とした地域振興を推進できる行政官が、小値賀町の経験が育成し、住民主体のまちづくりに組んでいる。この研修は、問題を抱える大洋州などの島々がした地域振興を推進できる行政官が、小値賀町の経験が育成し、住民主体のまちづくりに組んでいる。この研修は、

における行政の役割を理解し、六材育成事業の企画・運営手法を学ぶことが目的だ。同時に、小値賀町は研修を職員の能力向上や地域づくりに活用し、住民も町の魅力を見する効果が期待されている。一度は2007年10～11月に行なった。サモア、フィジー、トンガ※も協加した。私たちが取材した研修、「小値賀島の属島、大島を事例民参加型の農村調査手法（PR）を使って島の活性化のためのアシブルランを作るもの。果たし

25

三

十

5

3

-6

A

九

三

10

四

三
九

頃よ

たけだみりこ 漫画家。4コマ、ショート、料理漫画を中心に活動中。著書に『セイシュンの食卓』『異国のメシーラ』『クッキング カンタンタン』『キッチンの穴』など。<http://majop.com/Neji/>

事情により早期帰国。